

## 谷川岳（天神平からピストン）

【山行日】 2017年9月10日(日)

【交通】 マイカー

【メンバー】 CL高崎、SL仙石、赤木、清水力、横田、大島、会員外1 合計7人

【日程等】 天気 晴れ

天神平 8:08→天神尾根・田尻尾根分岐点 8:24→天神平・天神峠分岐点 8:36→  
熊穴沢避難小屋 9:07/9:11→天狗の溜まり場 9:54/10:01→天神ザンゲ岩 10:30/10:38→  
谷川岳・肩の小屋 10:48/11:00→谷川岳(トマノ耳) 11:08/11:09→谷川岳(オキノ耳) 11:24/11:27→  
谷川岳(トマノ耳) 11:45/11:51→谷川岳・肩の小屋 11:56/12:45→天神ザンゲ岩 12:58→  
天狗の溜まり場 13:20/13:32→熊穴沢避難小屋 13:57/14:04→天神平・天神峠分岐点 14:28→  
天神尾根・田尻尾根分岐点 14:36/14:38→天神平 14:49

夏山が終わって、涼やかな秋の夜風に、私の生活はすっかり夜行性に戻ってしまった。早起きは何もかも投げ出してしまいたいくらいにつらい。起きたくないが、行くと言った手前何とか起きる。天気予報は晴れ。登山日和だ。

さて、谷川岳天神尾根コース、以前に何度か登ったことがあるが、道の様子が思い出せない。記憶にすら残っていない。ある意味新鮮だ。ロープウェイで573m上って1,319mの山頂駅に着き、これから登る山を確認する。登山道を人の頭が移動していく。登山者が多く連なっているの、道の傾斜の程度が良くわかる。実際に登り始めるとこんな道だっけと思うことが多いが、見事に覚えていないので、そうなんだーと思いながら登る。岩は高度を稼げるので嬉しい。それにしても人が多い。子供も結構いる。しかも、未就学と思いき子供もそこそこいる。…子供でも登れる山ってことか！谷川岳なのに…。子連れファミリーは楽しそう。自分があの世代の頃は何をしていたのだろうかと思ふ。

肩の小屋に着いた。あ、この鐘は覚えている。ここで何と小川さん父子に出会った。とても仲が良さそうだったが、小川さん曰く、実は反抗期の真っ只中だそう。が、それってちゃんと成長しているってこと。良い事だ。

小川さん父子と別れて、ここに荷物を置き、トマの耳、オキノ耳にちょっと行ってくる。荷物が無いので楽だ。オキノ耳まで来たら霧が出てきた。下の方から霧がせり上がってくるが、尾根を越えられないのが面白い。トマの耳の方を見れば、山頂の人がネギ坊主のようにシルエットになって見えて、これがなかなか面白い景色になっている。晴れるのがベストだが、風に流れゆく霧もまたよし。

肩の小屋に戻ると先程より一段と人が増え、ベンチは多くの人達であふれ返っていた。隙間を見つけて座り、ランチスペースをゲット。それにしてもあまりの人の多さに、一体こっつどこ？と思ってしまう。人の流れが途切れず、誰もがお手軽簡単に行ける、シーズン中の筑波山並みの混み具合だった。

下山途中、黒い岩肌にくっきりと鮮やかに咲くダイヤモンドソウを見つけた。多くの人とダイヤモンドソウ、この二つが強く印象に残った。谷川岳登山は次回も新鮮になりそうだ。(大島)

